

35年度農業計画……………	1
早期栽培のやり方……………	3
3月の農作業……………	4
自作農維持創設資金……………	4
金について……………	6
にわとり教室……………	8
評判のよい大根占……………	8
の紅茶……………	8

町報

農政特集号

昭和35年3月15日発行

發行所 大根占町役場
発行人 町長遊喜半次郎
印刷所 三開商事印刷部

(単位グラム) 国の長期経済計画による食糧消費相定(1人1日)

品目	昭和37年の 消費想定				所得弹性係数
	昭和31年の 消費状況	1人当たり 伸び率	1人当り 長率	所得弹性係数	
米	297g	297g	100%	0.0	
小麦	69	71	103	+0.1	
精麦	47	38	81	-0.6	
雜穀	4	3	70	-1.0	
甘藷	75	49	65	-1.2	
馬鈴薯	47	50	107	0.0	
澱粉	10	10	100	0.0	
大根	11	13	122	+0.6	
野菜	200	204	102	+0.5	
果実	35	52	148	+1.2	
牛乳	3.2	3.2	100		
豚肉	2.6	4.0	154	+1.2	
鶏肉	0.8	1.1	138		
(肉類計)	(7.2)	(90)	(125)		
牛乳製品	39	69	177	+2.0	
卵	9.2	13.6	148	+1.2	
食用油	8.2	12.1	148	+1.2	
みそ	27	27	100	0.0	
しょうゆ	39	39	100	0.0	
砂糖	35	43	122	+0.6	

昭和35年度農業生産計画

1. 耕地面積及び耕種利用率

(単位ヘクタール)

1、新地面積及 2、新地利用率			田	畠	計		
	田	畠	計	田	畠	計	
基 準 面 積	329.2	1,251.5	1,580.7	實 面 積	327.4	1,210.0	1,537.4
潰瘍拡張面積	- 1.8	- 41.5	- 43.3	利 用 面 積	710.35	2,274.65	2,985.00
差 引 面 積	327.4	1,210.0	1,537.4	利 用 率	216.9	187.9	194.2
普通田畠面積	327.4	1,210.0	1,537.4				
永 年 作 物			69.1				
混田裏作不能	20.0		20.0				

2、作物生産計画

	田 ha	畑 ha	計 ha	10 a 当 収量 キロ	生産目標 K	生産額 円	単価 K 当り 円	備 考
作付総面積	710.35	2,274.65	2,985.00		22,656,080*	383,860,320円		
1、食糧作物	462.9	1,495.0	1,957.9		15,492,340	241,382,600		
(1) 米	330.4	255.0	585.4		1,731,030	122,903,100		
I 水 稲	330.4		330.4		1,159,530	82,326,600		
(普通)	257.4		257.4	345	888,030	63,050,100	71	
(早期)	70.0		70.0	375	262,500	18,637,500	々	
(二期)	3.0		3.0	300	9,000	639,000	々	
II 陸 稲		255.0	255.0		571,500	40,576,500	々	
(普通)		5.0	5.0	180	9,000	63,900	々	
(早 期)		250.0	250.0	225	562,500	39,937,500		
2、麦	118.0	297.0	415.0		751,500	27,868,500		
小 麦	45.0	115.0	160.0	180	288,000	10,368,000	36	
裸 麦	70.0	175.0	245.0	180	441,000	16,758,000	38	
大 麦	3.0	7.0	10.0	225	22,500	742,500	33	
3、いも類	12.5	635.0	647.5		12,595,250	89,162,000		
かんしょ	1.0	600.0	601.0	2,000	12,020,000	88,534,000	67	
イ、馬鈴薯	11.5	35.0	46.5		575,250	8,628,000		
春	10.0	25.0	35.0	1,200	420,000	6,300,000	15	
秋	1.5	10.0	11.5	1,350	155,250	2,328,000	15	

畜産、果樹、園芸に重点 35年度農業計画の構相

(作物生産計画つづき)

	田 ha	畠 ha	計 ha	10 a 当 收量	生産目標 K	生産額 円	単価 K 当り 円	備考
4、雜穀 あわばば 春秋 夏大豆 秋大豆 落花生	2.0	308 4.0 4.0 2.0	310.0 4.0 4.0 120.0 100.0 20.0 60.0	88 100 132 150 120 60.0 120	414,560. [*] 3,520 4,000 161,040 150,000 24,000 72,000	1,449,000円 123,000 124,000 4,992,000 8,250,000 132,000 828,000	35 31 々 55 々 115	
2、工芸作物 (1) 永年作物 イ、茶 紅茶 緑茶	46.45	593.05 69.1 69.1 10.1 59.0	639 69.1-5 19.1 10.1 59.0		1,199,440	116,118,720		
					20,200 20,200	2,976,000 2,976,000		
					1,400 18,800	532,000 2,444,000	380 130	幼木3.0
2、短年作物 たばこ てんさい なたね	46.45	523.95 35.0 1.45	570.4 69.4 4.55	210 2,200	1,179,240 219,240 132,000	113,142,720 71,910,720 660,000	328 5 49	
3、そさい 早出キヌザヤ 々胡爪 々南爪 々西爪 々トマト 一般そさい	10.0 4.5 0.5 3.0 1.0 0.1 5.0	114.4 15.2 0.1 3.0 1.0 0.1 95.0	124.4 19.7 0.6 3.0 1.0 0.1 100.0	600	2,244,800	18,982,000		
					118,000 43,200 48,000 32,000 3,600	7,080,000 648,000 720,000 480,000 54,000	60 15 々 々 々	
4、果実 温州 ばんかん 夏かん たんかん		26.2 11.0 12.0 3.0 0.2	26.2 11.0 12.0 3.0 0.2	2,400	8,000 72,000 8,000	3,520,000 2,880,000 640,000	40 80	成木3.0 幼木8.0 成木1.0 幼木11.0 幼木3.0 幼木0.2
5、綠肥作物 青刈大豆 イ、レンゲ 春秋播 口、ルーピン 春秋播	188.0 120.0 65.0 5.0 60.0 3.0	15.0 120.0 65.0 5.0 60.0 15.0	203.0 120.0 65.0 5.0 60.0 18.0	1,200	2,848,000 1,440,000 1,010,000 1,010,000	2,848,000 1,440,000 960,000 50,000 960,000 398,000	1	
6、飼料作物 実えんばく 青刈えんばく 混播えんばく 青トウモロコシ 刈オントント いね科雑草 豆科牧草	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 2.0	31.0 27.0	34.0 30.0	2,600	791,500 720,000	1,009,000 720,000	30 1	
合 計	710.35	2.274.65	2.985.00	3,200	644,000 22,656,080	64,000 383,860,320	1	

3、畜産計画

項目 家畜名	現在数	生産数	移入数	移出数	計差引	単位	販売数	価格	単価
1、大家畜 乳用牛 役肉用牛	1,727 5 1,472	492 10 480	112 5 100	475 10 460	1,856 10 1,592	頭 々 々	967 5 940	24210,000円 250,000 23,500,000	円
2、中小家畜 馬 豚 めん山羊 山羊 兎 鶏	16,525 1,140 1,140 35 150 200	8,703 1,600 1,600 3 50 50	4,520 1,460 1,460	9,600 1,600 10 2 20 300	20,148 2,600 48 20 50 50	々 々 々 羽 羽 羽	18,303 3,200 3,200 3 50 50	36,640,500 32,000,000 32,000,000 10,500 125,000 5,000	10,000 3,500 3,500 2,500 100 100
3、枝肉牛 成豚 鶏	15,000 3,400 400 3,000	7,000 3,000 400 3,000	3,000 3,400 400 3,000	8,000 3,400 400 3,000	17,000 1,700 400 3,000	々 頭 羽 羽	15,000 3,400 3,400 3,000	4,500,000 6,900,000 6,000,000 900,000	成300 15,000 300
4、その他家畜物 牛 山羊 鶏 歴 羊		18,250 18,000 1,000,000 90,000,000			18,250 18,000 500,000 192	頭 々 個 々	1,003,700 990,000 500,000 47,000	55 々 10 250	

特

集

災害から農家をまもる

水陸稻 早期栽培のやりかた

耕種基準改正される

本町に早期水稻が栽培されてから今年で五年目に当ります。早期栽培の目的につきましては今まで機会あるごとに申し上げておりますので、今更ここで言うまでもありませんが、種子ヶ島で米が二度取れるのを羨しく考えたのも、今では昔の想い出となり、大根占でも結構二期作ができることが実証されました。米作を台風、旱害の災害から守り、二期作が順調にのび病虫害の防除を徹底して年ごとに改正されましたが、昭和三十五年度の栽培技術が改正され、この度決定発表になりましたのでお知らせします。

いずれの作物栽培につきましても言えることですが、ある程度の技術を覚えてくと自然に自己流が出てくるものです。しかし、この早期栽培に関する限りは自然の環境を人為的に変えて作物を栽培（特に育苗期）する技術であり、細心の注意と高度の技術を必要としますので、今年から始めてやられる人は勿論今まで実施して来られた人も充分注意して技術員とよく相談され、ここに示します基準を忠実に守つて間違いないの方で実施して下さるようお願いいたします。

☆ 水稻早期栽培

1、品種

奨励品種、水稻農林十七号

認定品種、藤坂五号、たかね錦

越路早生、平和モチ

ね錦

2、種子

(1) 種子もみの選定

種子もみはできるだけ採種は産のものを用いる。自家採種の場合は良品種の混入していないもの十分乾燥して貯蔵したものを使用する。種子もみはあらかじめ発芽試験をして発芽率を確めておくと都合がよい（発芽試験の方法は町報二月号参照）

(2) 種子もみの塩水選および浸種

六(水十八立に硫安二Kまでは食塩一、五Kをとかす

塩水の濃度は比重一、〇(3) 種子消毒

回水を取り替える。

浸種の途中または浸種前

洗した後十五度から三十五度の温水に三日から七日浸漬する。十五度以下の水温では浸漬日数を長くする。

（4）風呂湯浸法

浸種して十分吸収した種もみは三十七度から三十八度位の風呂湯に一晩つけて入れる量、および袋は風呂湯浸の場合と変わらないが埋入するが桶等を使用する場合は日中日当りのよい場所に出で、できるだけ十五度以上の温水を使用する。

この場合海水や、流水に浸漬すると温度の変化も少しだけなく浸種の場所として適度の温水を使用する。

（5）催芽

芽を切った種もみは更に

（6）水銀製剤（ウスブルン、ミクロジン、メルクロン等）で消毒をする。消毒の方

法は水銀製剤一、〇〇〇倍液によく水をきつて種もみを洗しておく、この場合消毒液の温度は十八度の時六時間つけ置くことによって、この場合消毒液の温度下ることに一時間長くする。

（7）保溫折衷苗代とする。

（8）苗床の種類

（9）苗代位置の選定

六合目位とする）を浸漬し袋に入れた種もみ（袋は目の荒いカマスかアンペラがよく入れる量は袋の半分か

六合目位とする）を浸漬しふたをして更に、むしろな

ど覆をして保温に努める。湧水等に浸種して浸種中に十分芽を切ったものは風呂湯溝の必要はない。

（10）苗代

（11）苗代

（12）苗代

（13）苗代

（14）苗代

（15）苗代

（16）苗代

（17）苗代

（18）苗代

（19）苗代

（20）苗代

（21）苗代

（22）苗代

（23）苗代

（24）苗代

（25）苗代

（26）苗代

（27）苗代

（28）苗代

（29）苗代

（30）苗代

（31）苗代

（32）苗代

（33）苗代

（34）苗代

（35）苗代

（36）苗代

（37）苗代

（38）苗代

（39）苗代

（40）苗代

（41）苗代

（42）苗代

（43）苗代

（44）苗代

（45）苗代

（46）苗代

（47）苗代

（48）苗代

（49）苗代

（50）苗代

（51）苗代

（52）苗代

（53）苗代

（54）苗代

（55）苗代

（56）苗代

（57）苗代

（58）苗代

（59）苗代

（60）苗代

（61）苗代

（62）苗代

（63）苗代

（64）苗代

（65）苗代

（66）苗代

（67）苗代

（68）苗代

（69）苗代

（70）苗代

（71）苗代

（72）苗代

（73）苗代

（74）苗代

（75）苗代

（76）苗代

（77）苗代

（78）苗代

（79）苗代

（80）苗代

（81）苗代

（82）苗代

（83）苗代

（84）苗代

（85）苗代

（86）苗代

（87）苗代

（88）苗代

（89）苗代

（90）苗代

（91）苗代

（92）苗代

（93）苗代

（94）苗代

（95）苗代

（96）苗代

（97）苗代

（98）苗代

（99）苗代

（100）苗代

（101）苗代

（102）苗代

（103）苗代

（104）苗代

（105）苗代

（106）苗代

（107）苗代

（108）苗代

（109）苗代

（110）苗代

（111）苗代

（112）苗代

（113）苗代

（114）苗代

（115）苗代

（116）苗代

（117）苗代

（118）苗代

（119）苗代

（120）苗代

（121）苗代

（122）苗代

（123）苗代

（124）苗代

（125）苗代

（126）苗代

（127）苗代

（128）苗代

（129）苗代

（130）苗代

（131）苗代

（132）苗代

（133）苗代

（134）苗代

（135）苗代

（136）苗代

（137）苗代

（138）苗代

（139）苗代

（140）苗代

（141）苗代

（142）苗代

（143）苗代

（144）苗代

（145）苗代

（146）苗代

（147）苗代

（148）苗代

（149）苗代

（150）苗代

（151）苗代

（152）苗代

（153）苗代

（154）苗代

（155）苗代

（156）苗代

（157）苗代

（158）苗代

（159）苗代

（160）苗代

（161）苗代

（162）苗代

（163）苗代

（164）苗代

（165）苗代

（166）苗代

（167）苗代

（168）苗代

（169）苗代

（170）苗代

（171）苗代

（172）苗代

（173）苗代

（174）苗代

（175）苗代

（176）苗代

（177）苗代

（178）苗代

（179）苗代

（180）苗代

（181）苗代

（182）苗代

（183）苗代

（184）苗代

（185）苗代

（186）苗代

（187）苗代

（188）苗代

（189）苗代

（190）苗代

（191）苗代

（192）苗代

（193）苗代

（194）苗代

（195）苗代

（196）苗代

（197）苗代

（198）苗代

（199）苗代

（200）苗代

（201）苗代

（202）苗代

（203）苗代

（204）苗代

（205）苗代

（206）苗代

（207）苗代

（208）苗代

（209）苗代

（210）苗代

（211）苗代

（212）苗代

（213）苗代

（214）苗代

（215）苗代

（216）苗代

（217）苗代

（218）苗代

（219）苗代

（220）苗代

（221）苗代

（222）苗代

（223）苗代

（224）苗代

（225）苗代

（226）苗代

（227）苗代

（228）苗代

（229）苗代

（230）苗代

（231）苗代

（232）苗代

（233）苗代

（234）苗代

（235）苗代

一様に均等することが大切である。

前作に綠肥を栽培して、これをすき込む場合は少なくとも荒起の一週間前に刈取つて全面に散布しておく。レンゲのすき込み量は十アール当たり一、二〇〇K(反当三〇〇メ)程度とする。レンゲの繁茂が旺盛な場合、地下部だけで十アール(2)田植

当三〇〇メ)程度とする。あるので地上部は刈取つて

これも荒起の一週間前に刈取つて全面に散布しておく。レンゲのすき込み量は十アール(2)田植

当三〇〇メ)程度とする。あるので地上部は刈取つて

(イ) 単肥料用の場合

肥料名	施肥量		三要素量 (a 当)		
	a 当	反当	窒素	磷酸	カリ
硫安	3.4Kg	9メ	714g	g	g
過石塩加計	8.8 1.1	約10メ 約3メ	627	627	638 638
			714	627	638

(ロ) 複合肥料の場合

例 1

肥料名	施肥量		三要素量 (a 当)		
	a 当	反当	窒素	磷酸	カリ
鹿児島県標準複合肥料	7.5	約20メ	600g	525g	562g
早期水稻 第 1 号	K	g	g	g	g

*備考 基肥を原則とするが特に肥切れしやすい水田は硫安 a 当400~750gを6月中旬に施す。

例 2

肥料名	施肥量		三要素量 (a 当)		
	a 当	反当	窒素	磷酸	カリ
鹿児島県標準複合肥料	7.5	約20メ	600g	525g	600g
早期水稻 第 2 号	K	g	g	g	g

※備考

例 1 に準ずる

(1) 収穫期

本田では特にイモチ病、モモンガ病、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビカラバエ等の発生に注意し共同防除することが望ましい。

低温のため薬害を起すおそれがあるから除草剤にはMCPを使用する。

ハ、病害虫の防除

本邦では特にイモチ病、モモンガ病、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビカラバエ等の発生に注意し共同防除することが望ましい。

イ、收穫乾燥

本邦では普通水稻に比べて出穗後、成熟するまで

ロ、脱穀

早期栽培用の品種は脱粒

難のものが多いため、脱穀する際に脱穀機の回転数が早

二、栽植密度、種々の条件によつて決めたものでは三十センチ×二十四センチ、一平方メートル当り二十七株(坪九十五株)程度の並木植とし地力のあるところでは一平方メートル当り十八株から二十四株(坪六十株)程度でもよい。

三、肥料、肥料は普通の水田では全般基肥を原則とする。

堆肥はできるだけ完熟したものを使い、堆肥金肥と無硫酸根肥料を使用した方がよい。

追肥は普通の生育であれば施さない方がよい。特に無硫酸根肥料を使用した方がよい。

肥料は普通の水田では全般基肥を原則とする。

堆肥はできるだけ早く培土して冷水が直ちに中干は梅雨期に当るので落葉の色が、やや淡緑となる。

施肥量は完熟堆肥、または緑肥を十アール当り七五〇Kから八〇〇K(反当約二〇〇メ位)を施すことを前提として施用の一例を示す

田植後一週間位はできる

ロ、中耕除草

田植後十日から十四日目の後十日目ごろ第二回除草の後結束して架干とする。

天を選び朝から刈り始め刈り取りはできれば、晴天のうちに水分が多いので束を大

きくするとムレるから小さくすること。

刈り取った稲を急に乾燥するところでは、厚生省の国民健康調査によると、日本人は一年に平均二回は病気になりますが、二十五日間病気の状態にある。また八日前後

仕事を休み、医者にかかる率は百人のうち四十八人で、医療費の総額は一千五百億円に達します。

そこで年間で三千五百億円に達するので患者が直接支払う金は医療費の四〇〇%程度となつてゐる。いちばん病気の被害をうけている階層は四人家族で月収一万五千円以下の貧しい家庭ほど病人を多く出し、農村では、三町以下の貧農ほど病人を多く出している。

4、栽植密度

肥料名	施肥量		要素量			加里
	a当	反当	窒素	磷酸		
堆肥	80K	200メ	400g	200g	400g	400g
硫安	2.2	7	567			
過石	2.7	7		446		
塩加	1.0	2.5			580	
計			967	646	980	

種々の条件により異なる
が晚期栽培では生育日数
が短かく、穗数の確保が
必要であるから普通の栽培
に比べてやゝ密植する
普通の場合一平方メートル
でよいが早く移植する場合
または地力のないところ
が幾分遅い。

1、品種
認定品種岩手クルミ早生
一号、農林モチ二十五号
岩手クルミは早熟である
が收量はやゝ少なく、イネ
カラバエに弱い、フジ
ガネは熟期は中で、イネ
カラバエに強いが食味は
よくない。農林二十一号
は良質多収であるが熟期
は中期であるが熟期は中で、
イネ消毒が終つたらそのまま
一度すくひろばまきやす
い程度に乾かす。

陸稻早期栽培

2、種子の選種

じ品種でも普通栽培の場
合より脱粒しやすくなるの
で特に取り扱いに注意する

が年によつて秋の冷込み
が早い場合は穂の下部の
青味が消えないで成熟状
態が長びき判定が困難と
なる場合がある。結果日数は
出穗後四十

五日から五十日であるか
ら、これ以上経過しても
熱度が進まない場合は早
刈りする。
なお晚期栽培の稻は同
じ品種でも普通栽培の場
合より脱粒しやすくなるの
で特に取り扱いに注意する

イ、単肥施用の場合

肥料名	施肥量		基肥 (a当)	追肥 (a当)			三要素量 (a当)		
	a当	反当		1回	2回	3回	窒素	磷酸	加里
堆肥	120K	約300メ	120K				448g	180g	480g
硫安	4.5	約12	1.5	1.0	1.0	1.0	945		
過石	3.8	約10	3.8					627	
塩加	1.0	約27	1.0						580
計							1.393	807	1.060

ロ、複合肥料の場合

肥料名	施肥量		基肥 (a当)	追肥 (a当)			三要素量 (a当)		
	a当	反当		1回	2回	3回	窒素	磷酸	加里
堆肥	120K	約300メ	120K				480g	180g	480g
早期陸稻第1号	7.0	約18.5	7.0				350	588	560
硫安	3.0	約8.0		1.0	1.0	1.0	630		
計							1.460	268	1.040

6、播種

イ、播種は三月下旬から
四月上旬を主体とする
布する。

7、施肥

特に第一回の追肥は遅
れないように注意する。
追肥の際は乾燥した時期
をさけ白砂または烟土と
混合し増量して均一に撒

8、土寄せ

六月上旬第三回追肥
後直ちに行なうが稻株をあ
まり強く抑えられないよう

を碎き平らに均らす。

寸から一尺七寸)内外で
約十五センチの施肥溝を作
る。

が特に農林二十一号を栽培するため三月下旬には播種を終るよう

する。播種法は播巾十三セ
ンチ(四寸)程度とし均一

ツトル(反当五升)程度と

する。

播種した後鍬で厚さ一

センチ二センチ程度にて

覆土鎮圧する。

いねに覆土鎮圧する。

主に農林二十一号を栽培するため三月下旬には播種を促進

する。

播種量は精選した種

を終るよう

に。播種量は

アーレル当り九リ

ットル(反当五升)程度と

する。

播種量は精選した種

を終るよう

に。播種量は

アーレル当り九リ

最近非常に養鶏熱が上り町内でもヒヨコの注文をされる方が多いので養鶏をやる心構えについて申し上げます。

1、資金計画……先立つものは何でも金。殊に養鶏では産卵を開始するまでは何も金になるものがなく卵を生んで始めて金になるのでそれまでの飼料資金を用意して置かねばならない。卵を生めば後は楽。ヒヨコから卵を生むまでに飼料代として1羽当300円位は用意したい。

2、飼料計画……資金計画と前後するが養鶏の悪い所は農家で飼料を自給する割合が少い。——飼料の自給率が少い(20%位)和牛などは草食動物の関係で飼料自給率が高い(80%位)——購入飼料が多い。自給する飼料といつても甘藷と小麦やビール麦の類である。1日生甘

藷20匁ビール麦10匁の割で飼料を設計する。

3、よい配合飼料……ヒヨコから540日までは配合飼料によるのがよい。経済連の配合飼料、日配の飼料三菱の飼料の様な一流メーカー品であれば間違いはない。

4、よい離……よい離とは多産する鶏になるヒヨコと言えよう。どれでも多産するというわけにいかない。信用あるよい孵化場から出されたヒヨコを取ること。

それも3月のヒ教ナを取るのに3月というのなく少くとも前年の11月頃には申込んで置くこと。11月頃でないと三月のヒヨコは皆狙つてゐるので1月2月頃申込ん

でもない。技術員に聞けば鹿児島は勿論全国有名孵化場を教えてくれる

5、よい設備……鶏舎はバタリー式に作るのがよい。飼育管理に便利で駄鶏の陶汰が徹底する。儲るためにには少くも年間200羽の鶏に捕えたい。卵を生まれない様な鶏にエサをやつても飼料会社を儲からせるだけ何もない。卵を生むまでは平飼いでむしろ放し飼いして充実したからだを作る。

6、よい管理を

……いくらよい設備よい飼料でやつてもよい飼育管理をやらなければよく卵を生みません。よい管理をするには先ず自分の鶏の毎日の状態をよく観察して現状を把握すること。何と言つて黙鶏を陶汰することができる。

一です。鶏舎は南東向でよく日光が当るようにし冬寒い時は隙間風が入らないように北側は密閉し窓で囲つてやり夜は窓などを吊して防寒設備をしてやる。多産する鶏はビタミン類がいるので必ず緑飼を1羽10匁位やる梅雨期は鶏にとって最も悪い時期なので乾燥と換気に注意して管理、夏は日よけをし通風をよくしてやる。水は1日に2回位清水をやる。蚊の出る前5月末～6月頃鶏病の予防注射をしてやる9月秋の始めはジフテリーにかかりやすいので常に濃厚飼料のたらないことのないよう注意して穀類魚粉を少し多いめにやり換羽に備える。肝油や芽出し麦等は栄養補給剤としてよい飼料である。中離時代は出来れば平飼いにして運動をよくして土をふませ、よい充実した体躯を作つてやるように心掛ける。今ヒヨコを注文される方は5月になりますから、承知の上で申し込んで下さい。めず1匹80円です。お金は前金でお願いします。



県下主な地帯による品種紅茶比較表

区分	33年度		34年度		K当 価格
	数量	審査 点数	数量	審査 点数	
枕崎市農協	Kg 4,000	点 126	Kg 9,000	点 125	点 125 円 430
大根占町役場	300	127	700	108	117 400
高尾野農協	1,200	120	2,900	107	113 395
湯田農協	1,100	113	1,980	109	111 390
鹿屋市営工場	100	126	1,000	45	110 385
大隅茶業指導所	444	114	1,500	99	107 370
別府農協	462	124	607	91	107 370
知覧町農協	2,400	86	5,200	89	87 310

本町産の紅茶が大根占紅茶として販売が始まつてから本年で三年目になります。三十一年と四年は町外の紅茶工場に委託加工しました。この工場には、最新式の機械が設備され、この工場で本年は昨年以上に良い製品ができるものと期待されています。この審査を行なわれています。製品は終済され、茶工場に委託販売し、共同生産の販売のため品質審査が行われます。この審査を公平に行なうため県持産課茶業係長、茶業試験場の場長による審査により価格が決定されます。次の表は県下のおもな産地による品質を示す

茶葉はあります。この表で見ると、枕崎市は最高であり二年平均では枕崎について二位であります。本町は紅茶については立地条件に適していることが証明されたわが傾向はかかると思ひます。三十三年度は本町紅茶が県下平均点数は最高であり二位であります。本町は紅茶増殖は急速に進むと思われるが、本町も紅茶工場の設置により今後増殖が進むことと思ひます。今後県下の紅茶は防災作物として、今後農家の安定した作物として取り入れることが良い事と思います。

大根占の紅茶

評判のよい

(前の頁からつづく)
二、除草



農林二十一号では、畠が紫色をおびており成熟期には紫褐色になるので熟期の判定を誤らないよう早期水稻と同じく成熟期になつても茎葉の黄化が遅くなるので熟期を見定めるようになる。收穫乾燥は早期水稻に準ずるが、水稻よりも穗發芽しやすいので特に注意が必要である。

農林二十一号では、畠が紫色をおびており成熟期には紫褐色になるので熟期の判定を誤らないよう早期水稻と同じく成熟期になつても茎葉の黄化が遅くなる。收穫乾燥は早期水稻に準ずるが、水稻よりも穗發芽しやすいので特に注意が必要である。

結実日数は品種栽培方法防除法は別途に示すが、特に根アブラ虫、カラバニ等種々の条件によって異なる。大メイ虫の発生に注意するが、出穗期から三十日前後で刈り取りの適期となる。成熟期は大部分の畠が黄熟し穂の下部に二、三粒青味をおびた畠が残る程度で、このような状態の畠が七割から八割に達したころ刈り取る。

8、病害虫の防除

麦間作の場合には播種前に除草しておくが、発芽後に除草は五月上旬ごろの第一次を遅れないよい注意す。畦間は鉢またはカルチで中耕を兼ねて行い得るが、株元は入念に手取りする。